

希望に燃え 入学式



発行所
名古屋電気学園
名古屋市千種区若水三丁目2-12
TEL (052) 721-0201
愛知工業大学
愛知工業大学名電高等学校
愛知工業大学附属中学校
愛知工業大学情報電子専門学校

さあ勉強、輝く瞳
大・高・中・専門学校に二千七百人

総数2,669名——フレッシュな新入生を迎えて、平成5年度の大学、高校、中学、専門学校の入学式が4月6、7、9の三日に分かれて、

それぞれ厳粛に行われた。厳しい入試に合格して入学を迎えた日、その喜びもひとしお。式場は希望に燃えた明るい顔・顔で埋まった。



入学式をすまし、オリエンテーション会場へ
四月七日、大学で

大学

大学の入学式は、四月七日午前十時から鋺徳館で行われた。
開式の辞に続き本学管弦楽団による「祝典行進曲」が演奏され会場の雰囲気盛り上げた。
出席者全員による「君が代」斉唱の後、後藤学長が式辞で、「創立者・後藤喬康、自ら求めて学ぶ意欲、友との輪、ネットワーク、である」と述べた。
次いで、新入生を代表して岡本康弘君(経営工)が宣誓を力強く行い、最後に学歌を斉唱した。
入学者数 (一) 女子内数
(工学部第一部)
一、四四六(一五九)
電気工二七〇(一〇)、電
工二一六五(九)、応用化
一五八(二七)、機械工二
七六(七)、経営工二一九
(二七)、土木工二六一(一
〇)、建築二六九(四〇)、
建築工二二二(一八)、情
報通信工二〇六(一一)
(工学部第二部)
一四三(〇)
電気工二六、機械工八一
(大学院・修士) 五二(三)
電気電子工二八、材料化
四(一)、生産システム六、
建設システム三(一)
(大学院・博士)
生産・建設一

高校

高校の入学式は、四月六日午前九時から鋺徳館で行われた。
新入生は新しいブレザーに身を包み、大勢の保護者が参列して、厳粛な中にも華やいだ雰囲気の中で、プロラバンドの演奏により式が始められた。
一同起立して国歌斉唱のあと、四月から就任された白井校長から、
電気科 一〇一名
電子科 一三〇名
機械科 一二四名
普通科 四一八名
(計) 七七三名

に対して入学許可宣言があった。(女子入学生は普通科の五十二名)
川澄校長から「建学の精神である『誠実・勤勉』を實踐し、実りある学校生活を送り、立派な生徒になる

中学

中学校の入学式は、四月六日午前十時から新入生五十八名を迎え愛名館で行われた。
川澄校長から「建学の精神である『誠実・勤勉』を實踐し、実りある学校生活を送り、立派な生徒になる

よう」と訓辞があった。後藤理事長からは「成長著しい時期に基礎学力を身につけて、将来は愛工大を目指してほしい」と励ましの言葉があった。
続いて、在校生の安藤信之君が歓迎の言葉を述べ、新入生を代表して服部恵明君が宣誓を行い、最後に学歌を斉唱して式を終った。

校長は式辞で、「勉強、スポーツ、文化活動などあらゆる活動で、互いに切磋琢磨し自己の向上をはかるように。高校三年間は人生について考える大切な時期。進む方向を真剣にさぐり、夢を描いて自己を奮い立たせ努力するように。また、自己を知り、自己をコントロールすることを身につけて、自ら進んで実行できる力を養うように」と述べた。
続いて後藤理事長から「創立以来の校訓『誠実・勤勉』をしっかり受け継ぎ、真心をこめて真剣に努力してほしい』の言葉が贈られた。
新入生を代表して、普通科の高橋洋介君が、力強く宣誓を述べ、最後に校歌が演奏されて式を終った。

専門学校

専門学校の入学式は、四月九日、午前十時から豊田市中央公民館で、豊田市及び高校の校長先生方を迎えて行われた。
大きな期待に胸ふくらませた入学生は一九六名。
赤尾校長は式辞で、「電子制御、システム、ソフトウェア分野の技術者の需要はますます増大、パソコンOA機器を駆使する経営や秘書のビジネスマンの要請も高まっている。本校は、それに応えるべく、柔軟なアイデアに富む洗練とした技術者、ビジネス人材の育成を目指している。
諸君は一個の人間として広い温い心、豊かな教養を身につけて、悔いのない実り多い二年間を過して、本校

の伝統を築いてほしい」と述べた。
次に、心温まる理事長の挨拶、つづいて豊田市長代理の祝辞をいただいた。
最後に新入生を代表して経営情報学科の松井幸晴君が、二十一世紀をになう若者にふさわしい心強い誓いの言葉をのべ入学式を終了した。
入学者数 (一) 女子内数
(情報学科) 一〇六(八)
情報処理コース七八(四)、
システムエンジニアコース二八(一)
(電子機械学科) 六六(〇)
電子制御コース二八、CAD/CAMコース三八
(ビジネス情報学科) 二四(六)
秘書コース五(五)、経営情報コース一九(一)
(総計) 一九六(二二)



平成5年度
愛知工業大学情報電子専門学校入学式

式辞を述べる赤尾校長
四月九日、専門学校入学式、豊田市中央公民館で



胸上げされる喜びの卒業生 三月十八日、大学で

卒業式

大学、高校、中学の平成四年度卒業証書授与式が三月下旬から中旬にかけて、それぞれ行われた。卒業生は総数二、一三一名。就職に進学に、それぞれ心躍らせながら巣立って行った。

大学

『広い視野と人間性を備えた国際人に』

学長告辞

大学の卒業式は、三月十八日午前十時から伊徳館において挙行された。卒業生は工学部第一部一、一〇一名、工学部第二部一〇三名、大学院修士課程二四名、総数一、二二八名。

式は本学管弦楽団による「祝典行進曲」に始まり、出席者全員による「君が代」斉唱の後、第一部は青山英治君（情報通信工）、第二部は坂口義雄君（電気工）

にそれぞれ総代として卒業証書・学位記が授与された。続いて、大学院は総代として木田芳明君（電気工）に修士学位記が授与された。修士学位記が授与された。賞（受賞者別記）の授与、学生表彰、その他の賞の授与が行われた。

学長は告辞で、「より付加価値の高いもの、より高品質のものを作り出す『テクノロジー』の力に、資源

のないわが国の未来がかかっている。その意味で、産業界が諸君にかける期待はまことに大きい」と激励し、また「世界が大きい転換期を迎えている中で、技術に加えて広い視野と人間性を兼ね備えた国際人になっていただきたい」と期待を述べた。

卒業生代表小嶋智恵さん（経営工）の謝辞の後、学歌を斉唱して式を終った。

- | | |
|---|--|
| 卒業生数（女子内数）
工学部第一部
一、一〇一名（八〇）
電気工二七（三三）、電子工二八（四五）、応用化一五（二五）、機械工二八（二二）、経営工一八三（二七）、土木工二二（四）、建築一三〇（二〇）、建築工九九（六）、情報通信工七九（八）、
工学部第二部
一〇三名（〇）
電気工五五、機械工四八、
大学院・修士二四（〇）
電気工五、応用化七、土木工四、機械工四、建築四
名古屋電気学園賞
第一部
電気工学科 小川 剛
電子工学科 木全 義憲
応用化学科 池田 和穂
機械工学科 加納 英寿
経営工学科 小嶋 智恵
土木工学科 安藤 竜也
建築学科 園田 達也 | 建築工学科 提 哲郎
情報通信工学科 服部春樹
第二部
電気工学科 坂口 義雄
機械工学科 安藤 良輝
（学生表彰）
課外活動による表彰
陸上競技部 一名
硬式庭球部 二名
漕艇部 一名
卓球部 四名
硬式野球部 一五名
少林寺拳法部 二名
学術的活動による表彰二名
（晶山賞）（日本機械学会賞）
第一部・第二部 各一名
（箱寿賞）
（日本電気技術者協会中部支部賞）第二部 二名
（振興賞学生賞）
（空気調和・衛生工学会）第一部 一名
（瑞若賞）（本学同窓会）第一部十名、第二部二名
（後援会賞）第一部十名、第二部二名 |
|---|--|

高校

高校の卒業式は、三月一日午前九時から、卒業生や多数の保護者が入場した喬徳館で、吹奏楽部のリパルディー作曲の「四季」の演奏により始められた。

厳粛なうちに、卒業生、

愛知県知事の祝辞のあと、卒業生からの記念品が普通科柏木賢成君より贈呈され、在校生代表鈴木佳通君（普通科二年）が送辞を、卒業生代表岡本康弘君（普通科）が答辞を述べ、最後に校歌を斉唱して式を終了した。

卓球・バスケットボールの全国制覇という良き思い出を抱いて、吹奏楽部の「蛍の光」に送られて、巣立っていった。

- | |
|--|
| （クラブ功労賞）
普通科 板倉 正直
外一九三名
（皆勤賞）
機械科 杉浦 剛士
外三三年 一九三名
一か年 一〇三名
（中学・高校六か年皆勤）
電気科 杉形 賢一
電子科 佐野 貴昭
機械科 松本 康裕
普通科 児玉 満
（PTA会長賞）
電気科 鈴木 進悟
外一三名
（同窓会長賞）
電子科 宮戸 崇弘
外一三名
（愛知県知事賞）
電子科 影山 一心 |
|--|

中学

中学校の卒業式は、三月八日午前九時から愛名館で行われ、卒業生三十三名に川澄校長から卒業証書が授与された。

校長式辞に引き続き後藤理事から祝辞が述べられ、在校生を代表して佐々木康人君が送辞、卒業生を代表して高橋洋介君が答辞を述べ、全員で学園歌を斉唱して式を終った。

（外部団体表彰）
日本私立中高校連合会長賞 高橋 洋介
愛知県私学協会会長賞 原 裕信
PTA会長賞 小島 充貴
（校内表彰）
優良賞 高橋 洋介
優良賞 原 裕信
三か年皆勤賞 佐野 光伸
一か年皆勤賞 亀垣 和明

（学業成績優良賞）
普通科 勝見 隆

- | |
|--|
| （名古屋市長賞）
普通科 岡本 康弘
（愛知県私学協会賞）
普通科 中嶋 有啓
（日本私立中・高校連合会長賞）
機械科 川崎 正臣 |
|--|

（名古屋市長賞）
普通科 岡本 康弘
（愛知県私学協会賞）
普通科 中嶋 有啓
（日本私立中・高校連合会長賞）
機械科 川崎 正臣

- | |
|--|
| 普通科 木下 健治
（産業教育振興中央会長賞）
電気科 山田 武久
（愛知県産業教育振興会長賞）
機械科 川崎 正臣 |
|--|

「校訓の『誠実・勤勉』を忘れず、常に感謝の心を

「校訓の『誠実・勤勉』を忘れず、常に感謝の心を

「校訓の『誠実・勤勉』を忘れず、常に感謝の心を

「校訓の『誠実・勤勉』を忘れず、常に感謝の心を

「校訓の『誠実・勤勉』を忘れず、常に感謝の心を

視察報告

大学設置基準の大綱化に伴い、これまで大学を定量的に規定してきた枠組みが大幅に緩和され、教育内容等いわゆるソフト面については、各大学の自主性に委ねる方向が打ち出された。これに伴って大学の教育水準を維持するため、教員の授業内容・方法の改善・向上への取り組み(ファカルティ・デベロップメント)授業計画(シラバス)の作成・公表のほか大学自身による自己点検、自己評価を求めている。

答申は、自己点検・評価について「大学が、教育研究活動の活性化を図り、質の向上に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくためには、不断の自己点検を行い、改善への努力を行っていくことが必要」としたうえで、より効果的に実施するために「例えば、アメリカ合衆国におけるアクレディテーション・システムのよう、大学団体等が実施した自己点検・評価の検証を行い、客観性を担保することも望ましい方法である」と述べている。

愛知県私立大学協会、同短期大学協会は昨年、米国におけるアクレディテーション(基準認定)の実態とそれに伴う各大学のセルフ・スタディ(自己点検)を調査するため視察団を派遣したが、その一員として参加したので報告させていただきます。

競い合う教育の質

「本学の魅力は教育の質にある。もっと具体的に言えばそれは教授陣の質だ」という。このように米国の大学では「教育の質」の維持・向上を最重点に取り組んでいるが、それを支えているのがアクレディテーション(基準認定)のシステムである。

米国内で、このシステムが導入されて約一〇〇年。その間に一貫して掲げている目的は「質の維持」である。しかも、そのシステムを民間の非営利団体である基準協会が担当しているところ、に大きな特徴がある。

我が国が訪問したニュー・イングランド地区基準協会(マサチューセッツ州ウィンチェスター)事務局長のチャールズ・クック博士は「行政に任せると法律を改正したり、追加するのに時間がかかる。その点、民間の団体なら素早く対応することができ」という。

時代が変わり、社会が変化すれば、それに伴って大学にも新しいものが求められる。

社会に対して、時代に即応した「教育の質」を明確に示すためには、常に新しい基準を見つけていくことが大切であり、同時にこのことが大学の活性化につながる。「大学に新風を吹き込むこと、外部から新鮮な刺激を与えること」が協会の役目なのである。



ニューイングランド地区基準協会にてチャールズ・クック事務局長(中央)のレクチャーを受ける筆者(左)

認定校のメリット

米国内にはニュー・イングランド地区基準協会をはじめ中部地区(フィラデルフィア)、北中部地区(シカゴ)、北西部地区(シアトル)、南部地区(アトランタ)、西部地区(オークランド)と合わせて6地区基準協会があり、それぞれ担当地域内にある大学、短大を審査してアクレディテーションを与えている。例えば、ニュー・



大学の事務局長とブラウン・ロスマン

米国に於けるアクレディテーションと自己点検・評価

イングリッド地区基準協会の場合、管轄地域はコネチカット、メイン、マサチューセッツ、ロードアイランド、バーモントの6州。現在の認定校はハーバード、MIT、ブラウンなどを含め二〇〇校。会員資格の認定校になると

教育の質が高く、またそれを維持、発展させていく大学ということで社会的に大きな信用を得ることができ。このことは学生募集や就職に大きな影響を持つ。

(2)国や州政府からの補助金奨学金は認定校に対してのみ支給される。

(3)奨学金や研究に対する補助金を出している民間の財団や団体も、認定校に

対して集中的に援助する。などのメリットが得られる。

米国内で、原則として大学の設置は州政府の教育委員会に届け出ることによって開設できる。そして、新設大学は社会的な信用度を高め、また経営的な安定を求めて、教育の質の充実に努め、完成年度以後、各地区基準協会にアクレディテーションを申請する。わが国のシステムとの根本的

な違いがここにある。文部省の設置認可申請が教員数や校地、校舎の面積などを細かく定めた設置基準を元にした開校前の事前審査であるのに対して、米国の場合は既に卒業生を送り出し、教育研究の実績のある実態審査になっている。

みなぎる緊張感

アクレディテーションの目的は、各大学が「教育の質を維持し、さらに向上させるために勇気を持って挑戦しているかどうか」を判断することである。このため、協会に各大学がその目的の達成を明確にするためセルフ・スタディ(自己点検)を行うことを求め、そのためのスタンダード(基準)を示している。

このなかでアクレディテーションに適合する大学の条件として挙げられているのは「高等教育を実施するのにふさわしい明確な教育目的を持っている」。

(2)それらの目的を成就、達成するために必要な設備と資金力を備えている。

(3)現実にその目的を達成している。

(4)将来に向かって、その目的を達成し続ける能力と姿勢がある。の4点である。

これについて、クック博士は「簡単に言えば、高等教育機関として機能する能力があるかどうか、と言うことだ。つまり、正確な現

大切な学内の理解と協力

アクレディテーションを受けるプロセスの第一歩は、大学当局が行うセルフ・スタディ(自己点検)から始まる。この目的は、自らの大学が教育の質を高め、さらに発展させるために、現状を正確に分析するとともに、各々の大学が持つ使命、目的、方向性に対して教職員一人一人がどのように関わっているかを確認することにある。そのためには、学内の関係者がその目的に対して共通の理解をすることが大切となる。協会が求めているのは、これによって

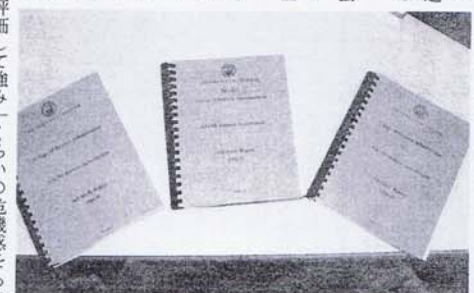
(1)ストロング(強み) 将来に向かって力強く進んでいるか。

(2)ウィークネス(弱み) 目標をまだ達成していないところ、弱点はどこか。

(3)インフラ(改善) 弱点を改善していく姿勢、企画性があるか。

を各大学が見いだすことである。

一般的にセルフ・スタディはアクレディテーションの一年半〜二年前にとりかかる。まず、各大学に学内の教職員で構成される運営委員会が組織される。教務部門と管理・運営部門の二つの中心になるグループから総長によって指名される委員は、通常一〇〜二〇名くらい。さらにこの下に、目的ごとの分科会が設けられる。代表的な分科会は「アドミニストレーション(入学)」「プログラミング(教育)」「ガバナンス(管理)」の四つであり、これらが有機的に関連性を



デンバー大学の自己点検報告書(セルフ・スタディ・レポート)は3冊で合わせて1,000ページにものぼる。

持ってセルフ・スタディを進めることになる。当然、協会が示したスタンダードが基本になるが、その他に各大学がその特徴、方向性に沿ってセルフ・レギュレーション(自主基準)を定め、分科会がそれぞれ項目ごとに評価して強みと弱みが明らかになる。分科会から運営委員会に提出される報告は、全体で一〇〇ページにもなる膨大なものである。運営委員会は、それに検討を加えて最終的に一〇〇ページにまとめ「セルフ・スタディ・レポート」として総長に提出、同時に同じものが地区基準協会に提出される。

自己点検の意義

協会の現地調査は通常3日間、八〜一〇名で構成された評価委員は、大学から提出された報告書が事実かどうか、また前回に比べて変化や進歩があり、さらに発展する姿勢が見られるかどうかを学内関係者と面談することによって評価を下す。この評価報告書が協会の判定委員会に提出され、アクレディテーションを与えるかどうかが決する仕組みになっている。

クック博士は「どんなに歴史と伝統があり、社会的に評価の高い大学でも弱点はある。常に次回は否認されることがあるかもしれない」という

「各々の大学が個性と特色を明確に打ち出すためにもセルフ・スタディの持つ意義は大きい。その過程で大学が社会に対して責任を持って自己を管理し、導き、個性を打ち出すという意味で『大学の自治』は守られなければならないが、社会から遊離した考えを主張したり、別の世界を形作ることは、別とは呼べない」と指摘した。

そして、わが国の大学が直面している自己点検・評価について「セルフ・スタディは自らを顧みると同時に存在する理由の再確認という意味で非常に重要だ。スタンダードがないとしたら、各大学が自主的な基準を作り、それに従って実施してはどうか。大切なことは、そのように作成されたルールが着実に守られるようなシステムにすることだ」とアドバイスしてくれた。

研究室紹介

セラミックスとガラスの研究

大学応用化学科 無機材料化学研究室

無機材料は、金属材料、有機高分子材料と並ぶ三大工業材料の一つで、主に金属元素と非金属元素の化合物の結晶や非晶質から成っており、天然原料を用いた陶磁器、ガラスなど従来の産業製品の他、高純度化学合成原料を用いた、フッ素セラミックスやニオブセラミックスを含み、半導体、磁性体、強誘電体、光ファイバーなどの機能性材料や、セラミックスエンジンに代表される高温構造材料など、その材料開発がここ二十十年の間に極めて激しく進歩した分野であります。

セラミックスという言葉が日常時に使用されるようになり、現在、広義には、セラミックスが無機材料を代表する言葉になりましたが、元来欧州では、セラミックスとガラスは別の概念で、現在でも狭義には、セラミックスは主に結晶から成る焼結材料を指し、非晶質であるガラスと区別しております。しかし陶磁器は結晶とガラスの複合であり、ガラスを結晶化した結晶化ガラス製品も出現し、学問的には無機材料化学として完全に同一の分野といえます。

図1に、無機材料の分野を、形態、材質と共に、このような視点から整理してみます。

図2は、ジルコニア微粒子の電子顕微鏡写真です。ジルコニアセラミックスは、酸素イオンが動きやすい特有の性質によって、酸素センサーや酸素ポンプ等の機能性材料であり、新しいエネルギー源である燃料電池の固体電解質としても今後の発展が期待されています。部分安定化ジルコニア焼結体がセラミックス中最も高強度高靱性であることが発見されて以来刃物やエンジン部品などエンジンリングセラミックスとしても注目を集めております。

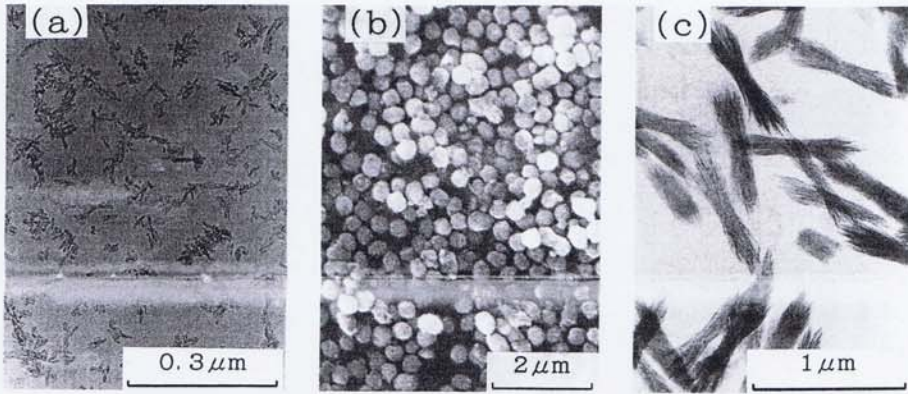
図3は、開発した磁器と市販品の強度比較です。平均曲げ強度 (kg/mm²) を示したグラフで、従来の磁器 (メーカー各社) はAからGまで約5から10kg/mm²程度ですが、開発された高強度磁器は約45kg/mm²と大幅に向上しています。

図4は、ZnS, CdS, PbS微粒子ドープガラスの粒子サイズとバンドギャップエネルギーの関係を示したグラフです。粒子サイズが増えるにつれて、バンドギャップエネルギーは減少する傾向が見られます。

図1 無機材料の分野

微粒子・繊維・薄膜・多孔体						
単結晶・多結晶・非晶質						
ファインセラミックス			ニューガラス			
エンジンセラミックス	セラミックス	セラミックス	結晶化ガラス	パイオガラス	光ファイバーガラス	非線形光学ガラス
セラミックス	セラミックス	セラミックス	セラミックス	セラミックス	セラミックス	セラミックス
特殊窯業製品	耐火物	理化学用磁器	電気用磁器	通信機用磁器	理化学用ガラス	電気用ガラス
		陶磁器	磁器		一般ガラス	一般ガラス

図2 ジルコニア微粒子の電子顕微鏡写真



加熱加水分解法により、当研究室で始めて合成されたものの電子顕微鏡写真で、(a)は約0.3 μm、(b)は約1 μmの超微粒子、(c)はそれより約0.4 μmの球状に凝集させ、Y₂O₃を添加後1000°Cに仮焼して得られた正方ジルコニア固溶体微粒子、(c)は更に条件を変えて合成した繊維束状の単斜ジルコニア微粒子です。これらは焼結体原料粉末の他、ゾルゲル法による多結晶薄膜や繊維等、特異なジ

ルコニアセラミックス原料としての応用が期待されております。また、これらの微粒子を他の酸化物と反応させるとジルコニア微粒子の形態が反応生成物にも継承されるので、CaZrO₃やPbTiZrO₆等の微粒子の合成へと発展しつつあります。東海地方、特に愛工大近隣の瀬戸東濃地域は、世界的な陶磁器産地であり、開発途上の追い上げなどから、陶磁器産業のフューチャーとして、セラミックス化学研究室内では、上記したファインセラミックスの研究と共に、地域に直接関係する研究として、陶磁器の微構造制御による高強度化の研究を行っております。

図3 開発した磁器と市販品の強度比較

品名	平均曲げ強度 (kg/mm ²)
従来 (A)	~5
従来 (B)	~12
従来 (C)	~10
従来 (D)	~10
従来 (E)	~7
従来 (F)	~8
従来 (G)	~9
開発された高強度磁器	~45

図4 ZnS, CdS, PbS微粒子ドープガラスの粒子サイズとバンドギャップエネルギーの関係

粒子サイズ (nm)	ZnS (eV)	CdS (eV)	PbS (eV)
2.0	~4.0	~3.2	~2.5
4.0	~3.8	~3.0	~2.3
6.0	~3.6	~2.8	~2.1
8.0	~3.4	~2.6	~1.9

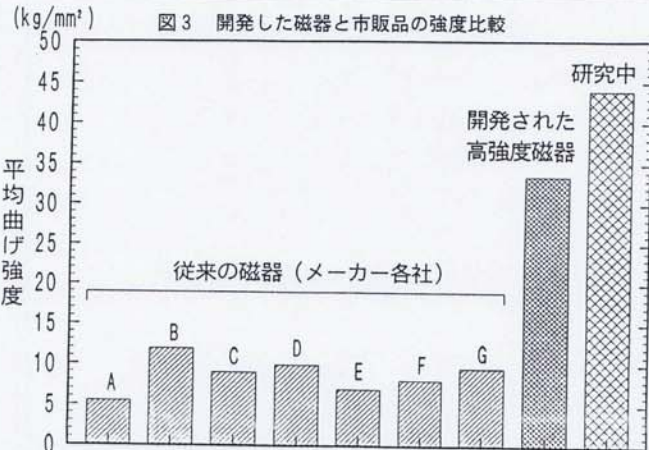


図4は、ZnS, CdS, PbS微粒子ドープガラスの粒子サイズとバンドギャップエネルギーの関係を示したグラフです。バンドギャップエネルギー (eV) は、粒子サイズ (nm) の増加とともに減少する傾向が見られます。ZnSは約4.0 eVから3.4 eV、CdSは約3.2 eVから2.6 eV、PbSは約2.5 eVから1.9 eVへと減少しています。

図5は、無機合成化学研究室でのガラスの新しい製造方法であるゾルゲル法による新しい機能性ガラスの開発に関する研究の進捗を示しています。ガラスの欠点はもろさであり、これが改善できればガラスの用途がさらに拡大します。高靱性ジルコニアをガラス中に分散・析出させればよいのですが、このようなガラスは高融点であるために、これまでの溶融による方法では製造が困難でありました。このようなガラスの作製にもゾルゲル法の適用を考え、比較的低温で多量のジルコニアを含むガラスを作ることができました。もろさが従来のガラスに比べ、1/5~1/8であり、この値は実用的には未だ充分なものではありませんが、もろくないガラスを作れる可能性があるものとして期待できます。

厳しかった就職戦線

大学 だが100%就職達成

連産業を中心とする機械・輸送機・精密器具が20%と最も多く、ついで電気・電子関係10%、化学・繊維・印刷関係7%、その他製造業7%となっている。

建設関係では、大手ゼネコン関係への就職が目立っている。

(2)県別 (一)内はその県の出身者数

愛知五九二(四九三)、岐阜四〇〇(二九)、三重三五(二九)、静岡二(一四)と東海四県下計六四四全体の突、ついで東京・神奈川二三五で三〇%、大阪・京都・兵庫・滋賀・兵庫の関西地区七八で七%。わが国主要三地区で六八%と大半を占めている。

(3)資本金別

10億円以上41%、1億〜5億円29%、5千万〜1億

パブル経済の崩壊の結果平成四年度に入っては、ここ数年と違って、大手企業の大量採用は過去のものとなった。

景気後退による業種不振そして採用の掌控えと、就職環境はこれまでの売手市場から一転して厳しい状況に様変わりつつある。

こうした社会経済状況の中で、各関係者の多大な努力の結果、卒業生一、〇一名のうち大学院、家業等へ進んだ者を除いた一、〇三四名が一〇〇%企業に就職し、社会人として立派に巣立っていった。

就職状況、次の通り。

(1)業種別 (一)は前年度

製造業44%(45)、建設業20%(18)、サービス業20%(22)、商業7%(6)、公務員・教員5%(6)。

前年度に比し順位、内容に大幅な変動はない。

製造業44%について、さらにその内訳は、自動車関

円、1千万〜5千万円共に9%、5億〜10億円5%と大手企業への就職が多くなっている。

(4)規模別(従業員数別)

従業員千人以上41%、千人まで15%、五百人まで28%、百人未満10%。昨年と殆ど同じになっている。

× × × × ×

平成四年度就職状況は、景気の後退が雇用環境に影響を及ぼして、数多くの企業が採用数を削減した就職戦線の特徴が、五年度においても引き続くものと予想される。より一層企業の採用方針は「量から質」プラス「多様な個性と専門性」を重視されてくるだろう。こうした環境下で、本学でもよりきめこまやかな、タイムリーな就職指導を進めていきたい。

高校 門閉ざす大手 中小は「チャンス到来」

平成四年度求人数は延べ四、六六三、求人社数は三、五二一社で、昨年度と大差なかった。これに対し就職者は三二九人、従って求人倍率は一四・六倍。

本年はパブル経済崩壊による影響が種々見られた。求人企業別にみると、大手有力企業は減少、求人難に悩んでいた中小企業はチャンス到来とばかりに増加した。

求人票受付の過程では、有力企業の中に、求人票を提出後「採用予定がなくなった」と断つてくる、或は「求人票だけは継続提出するが」と前もって求人の実質のないことを連絡してくる等、余剰労働力削減、軽

量化経営の意向がうかがわれる場面があった。

幸いに、本校就職内定者に「内定取消し」や「自宅待機」の通知は一件もなかった。

なお、高校卒の「在職期間別離職率の推移」(職業安定所資料)によると、在職一年目・二年目・三年目

とも離職率は昭和六十年以降上昇の傾向にある。現在の就職指導のあり方の改善を示唆するもので、就職希望生徒の適性・性格等の把握、就職希望の企業・会社内容の理解等の強化に一層配慮して進路指導、就職指導を実施する必要がある。

入試結果

大学

前期入試は507名増

十八歳人口の減少で受験生の動向が注目された今年入試戦線。この春の高校卒業生総数が昨年より五万五千人減った上、深刻な不況の影響で受験控え、はたまたパブル崩壊による人気学部は地盤沈下等々。全国の私立大学は大幅な志願者減に見舞われた。関東関西の有名私大も例外ではなく、早稲田大学ではこの逆風の影響で志願者総数が二万人以上落ち込み、同志社、立命館なども軒並み減ったといわれる。名古屋周辺の大学では経済系のダメージが大きかった。

さて、愛知工業大学の平成五年度入試結果は、第一部の状況を入試別にみると前期日程入試は志願者総数が一万二七〇人と前年より五〇七人増、センター試験利用入試が四二二で前年より二五五人減。女子学生特別入試が三三六

平成5年度 入試結果

工学部 第I部

学科名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
電気工学科	約120名	1,387 (19)	1,364 (19)	440 (4)	3.1
電子工学科	約120名	1,544 (41)	1,520 (41)	512 (13)	3.0
応用化学科	約110名	1,514 (139)	1,491 (136)	545 (60)	2.7
機械工学科	約120名	2,047 (22)	2,020 (22)	532 (7)	3.8
経営工学科	約140名	747 (40)	735 (40)	252 (15)	2.9
土木工学科	約120名	1,299 (37)	1,279 (36)	421 (18)	3.0
建築学科	約110名	1,313 (141)	1,294 (139)	379 (49)	3.4
建築工学科	約80名	1,104 (83)	1,079 (81)	314 (31)	3.4
情報通信工学科	約80名	1,215 (73)	1,209 (73)	309 (17)	3.9
計	—	12,170 (595)	11,991 (587)	3,704 (214)	3.2

大学入試センター試験を利用する入試

学科名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
電気工学科	約10名	28 (1)	24 (0)	22 (0)	1.1
電子工学科	約10名	32 (1)	28 (1)	25 (0)	1.1
応用化学科	約10名	61 (4)	39 (3)	26 (0)	1.5
機械工学科	約10名	59 (2)	39 (2)	31 (1)	1.3
経営工学科	約10名	41 (3)	32 (3)	19 (1)	1.7
土木工学科	約10名	46 (1)	29 (0)	16 (0)	1.8
建築学科	約10名	69 (19)	55 (16)	44 (14)	1.3
建築工学科	約10名	81 (8)	67 (7)	43 (3)	1.6
情報通信工学科	約10名	25 (1)	22 (1)	15 (1)	1.5
計	—	442 (40)	335 (33)	241 (20)	1.4

専門学校 入学者 大幅増

本年度入試は、十八歳人口減少に伴う私立大志願者減による競争の緩和、豊田市に愛知みずほ大の新設、愛知学泉大(豊田市)に経営情報学科の新設、県内に専門学校六校新設等の影響で、非常に厳しい状況であった。入試は推薦入試が第一、二次、一般入試が第一、四次行われた。入試結果、次の通り。

学科	コース	①受験者数	②入学者数	③増減
情報科	情報処理	86	78 (4)	+34
	システムエンジニア	34	28 (2)	+18
電子科	電子制御	40	28	+3
	CAD/CAM	47	38	+13
秘書科	秘書	5	5 (5)	+5
	経営情報	26	19 (1)	+4
計		238	196 (12)	+77

学科	①志願者数	②倍率	③入学者数
普通科特進クラス	94	/	26 (2)
普通科	1,846	/	392 (50)
普通科(計)	1,940	5.7	418 (52)
電気科	260	1.2	101
電子科	264	1.5	130
機械科	303	2.2	124
計	2,767	/	773 (52)

地域	志願者数	合格者数
名古屋市	47	40
名古屋市外の県内	24	16
県外	7	7
計	78	63

志願者は昨年の五〇%増で、その出身地域は、名古屋市内外六十%、市外(県外を含む)四十%。合格者は昨年の倍増で、その出身地域別は志願者とはほぼ同様である。入試得点の平均点は年々上昇しており、学力の一定レベル以上の児童の応募傾向が漸く定着してきた。入学者は五十八名で、新一年生は二学級編成でスタートした。

(1)入試科目を国語・算数に理科を加え三教科三百点。
(2)小学校の学習評価方法の変更により調査書は不要。
(3)推薦入試をやめ一般入試(二次・二次)のみ。
入試(一次・二次)の結果、次の通り。

故倉知事、中島教授(理) 両氏が受賞

平成四年度 後藤鉀二賞

平成四年度後藤鉀二賞授賞式が、一月二十二日学園本部で行われた。受賞者は、多年にわたる学園理事として健全な学園の運営に尽力された故倉知事・元理事、永年大学の教育推進に多大の貢献をされた中島・大学建築学科教授の二人である。

後藤奨学記念会長から、賞状、賞牌ならびに賞金が贈られた。(故倉知事・元理事にはご遺族に) 受賞者の業績概要次の通り。(敬称略)



喜びの受賞者(右より倉知元理事のご遺族お二人、中島教授)

中央は後藤鉀二前理事長遺影

井村教授(機械工)に

材料科学の発展に貢献



平成五年二月、井村徹・大学機械工学科教授が「高速回折顕微鏡法の開発と格子欠陥の挙動の研究」に関する優れた業績により、「東レ科学技術賞(財団法人・東レ科学振興会)」を受賞され、三月二十三日、東京での贈呈式で金メダルと賞金を受け取られた。

同研究は、物を一万倍から数百万倍に拡大して見る超高分電子顕微鏡の中で、調べたい現象を人為的に試

年。建築学科創設に参加その基礎を築き、今日の隆盛をみることは同氏の尽力の賜である。



故倉知元理事

平成四年六月亡くなるまで二十六年間の長きにわたり、学園理事として学園経営の中枢にあつて、その健全なる運営に尽力され、今日の発展に大きく寄与された。

特に、大学への通学至便な道として開通した猿投グリンロードの料金所の位置について、幾度も県当局との折衝を重ね、大学として最も有利な場所への設置が実現した。これにより、学生、教職員はもちろん学園としても大きな恩恵を受けて今日に至っている。このことは、いつまでも消えることのない功績として特筆されるべきである。

学位(博士)取得

学位名 工学博士
学位授与年月日 平成4年10月30日
授与大学 名古屋大学
論文題目 超微粒子の充填特性と充

料に起させて、試料中の原子の世界で起る変化をテレビで観察し、ビデオに連続的に記録して研究する方法を二十五年以上前に世界に先駆けて創始したものである。

そうして、それを用いる方法では得られない原子的構造の変化に関わる多くの現象を解析し明らかにすることによって、この分野の研究で世界をリードし、学問の発展と先端材料の研

填膺内部構造 柳井 裕道
学位名 理学博士
学位授与年月日 平成5年2月10日
授与大学 名古屋大学
論文題目 On Dependent GAT-type (退化CM型について) 三月期は一名が受給

修学の意志があるにもかかわらず、学費負担に困難を生じた学生・生徒に交付される「後援すゞ子先生奨学金」の平成四年度三月期奨学金を平成電子工学科二人一人が受給した。

三月二十一日、学園本部で、奨学記念会長・後藤理事長から励しの言葉とともに渡された。

父死亡によるもので、同伴の母と共に感激のうちに受領した。今後の学業継続にとって大きな励みとなる。

大矢奨学金も 名電高から愛工大への進学者のうち入試成績優秀者に交付される「大矢奨学金

研究・開発に寄与してきた。この「東レ科学技術賞」は、昭和三十五年を第一回受賞年度とする日本における民間財団・科学振興会の草分け的存在の伝統ある賞であり、第一回はノーベル物理学賞受賞者の江崎玲於奈氏が受賞している由緒ある賞である。

なお、井村教授は平成三年十一月に紫綬褒章を受章している。

普通健康体なら 宇宙旅行は可能 毛利宇宙飛行士が講演



が、四月七日入式後、奨学記念会長・後藤理事長から授与された。

日本機械学会東海支部第42期総会・講演会が、二十一日、大学を会場に開催された。「特別講演」は、毛利宇宙飛行士(現、宇宙開発事業団有人宇宙活動推進室長)が「ふわっと92と宇宙開発」と題して、十日後一時半から愛和会館講堂で講演。一般市民にも公開、約六百名が熱心に聴講した。ビデオやスライドを用いて、一時間余、宇宙実験の

オペレーターとしての経験と宇宙の魅力について、一般聴衆に分かり易く、かつ興味深く紹介された。

最後に質疑応答。「一般の人が宇宙へ行くのに宇宙飛行士と同様な特別訓練が必要か。宇宙へ行く時の肉体的苦痛は」との問いには、次のような答であった。

宇宙観光旅行なら、宇宙での実験、遊泳、緊急事態対応等のことなく、特別訓練は不要。普通の健康体なら、

ら今でもスペースシャトルで宇宙旅行可能。肉体的苦痛については、打ち上げの時最大3Gかかるが徐々に胸から背中の方にかかるので、殆ど寝た状態でいける。ただ、大気圏突入の時は重力が頭から足の方へかかる。せいぜい2.3Gだが、しばらく無重力で体がなまっているの0.5Gでも3Gぐらいに感ずる。スぺー

スシャトルではヘルメットをかぶらねばならぬが非常に重く不快だった。宇宙では血液が簡単に体中めぐるので心臓が弱くなっている。それに急に負荷がかかると、ちよっとバクバクするかも知れない。心臓だけは丈夫の方がよいが、車ばかり使わず毎日歩いている人なら大丈夫である。

高校長に白井先生(前時習館) 大学・高校・中学校 組織

大学	学 長 後藤 淳	副学 長 伊澤康司	学 監 竹松英夫	学 長 付 船戸高樹
学 生 部 長 大橋朝夫	第 二 部 主 事 久野精市郎	事 務 局 長 心 得 龜谷 清		
電 氣 工 学 科 小嶋憲三	土 木 工 学 科 尾 部 英 博	電 子 工 学 科 秦 野 和 郎	建 築 学 科 尾 形 崇 臣	
応 用 化 学 科 加 藤 悦 朗	建 築 工 学 科 坪 井 常 世	機 械 工 学 科 井 村 徹	情 報 通 信 工 学 科 服 部 昭 三	
経 営 工 学 科 鬼 頭 繁 治	教 養 部 鶴 飼 正 和			
高 校	学 監 後 藤 淳、長 尾 正 男	校 長 白 井 正 己	校 長 補 佐 野 牧 一 雄	
教 頭 近 藤 孝、蛭 川 明 信		事 務 局 長 松 本 章 二		

学 科 主 任	各 部 部 長			
電 氣 工 学 科 橋 本 昌 幸	校 務 部 川 村 明			
電 子 工 学 科 羽 佐 修 一	教 務 部 中 野 正 紀			
機 械 工 学 科 河 口 一 雄	生 徒 指 導 部 菅 井 善 章			
普 通 科 横 池 徹	進 学 指 導 部 水 野 慎 一 郎			
学 年 主 任	就 職 指 導 部 森 山 和 夫			
一 年 大 島 寛	保 健 部 藤 尾 健 一 郎			
二 年 井 上 恵 俊	部 活 動 振 興 部 松 井 郁 雄			
三 年 竹 内 博 美				
中 学	校 長 川 澄 忠 司	教 頭 古 田 和 義		
教 務 主 任 後 藤 俊 次				
専 門 学 校	校 長 赤 尾 保 男			
情 報 学 科 島 悦 郎	電 子 機 械 学 科 棚 橋 真 之 祐			
ビ ジ ネ ス 情 報 学 科 渡 辺 壽 夫				



高校総合運動場に「青雲館」完工 学園創立80周年記念事業の一つ、高校総合運動場(春日井市熊野町)の整備、拡充に関連し、三月始め「青雲館」が完工した。鉄筋造り、広さ九七〇平方メートルの平屋建てで、敷地内は一部芝生を配した運動場と同一仕上げ、屋内全面には防球ネットが取り付けてある。雨天時、強風時などに体育各種目の練習・試合に使用される。

篠原理事が 逝去



篠原卯吉・学園理事が三月三日逝去された。89歳。お通夜は三月三日ご自宅(海部郡七宝町伊福)で、葬儀・告別式は三月四日正午から東光寺(同町伊福)で厳粛に行われた。

偲ぶ会

「篠原卯吉先生を偲ぶ会」が後藤・本学園理事長、藤本哲夫・名大工学部長、太田宏次・中部電力副社長が代表世話人となり、四月十九日夕、名古屋国際ホテルで開かれた。参加者は教員、ご縁の深い方等百名。最初に、先生米寿のお祝いの時の録音が流れ、黙祷、代表世話人挨拶の後、理事長が研究室時代の思い出を「よく叱らな。にっこりもされない。だが人間味あふれる先生だった」としみりと語った。写真、来賓の松永中電会長、名大名誉教授がご挨拶。先生に献杯後、会食。一同、先生の遺徳を偲びながら語り合った。

林元学園 事務局長が 逝去



林秀夫・元学園事務局長が三月十三日逝去された。79歳。お通夜は三月十四日法輪寺(名古屋守山区大森三)で、葬儀・告別式は三月十五日午後一時から法輪寺で厳粛に行われた。昭和十一年四月、名古屋電気学校に事務職員として奉職、昭和四十五年から学園事務局長、大学事務局長(兼)に就任、昭和五十九年三月定年退職された。長期間にわたり、卓越した手腕で学園財政の確立、事務部門の強化充実、大学の八千単位キャンパスへの移転等を実現、学園の発展に多大の貢献をされた。特に、昭和三十九年大学

昭和四十四年五月、名古屋大学長を退任。昭和四十八年一月、学園理事に就任。以来二十年の長きにわたり、学園経営の中枢にあって、その運営に尽力され、今日の発展に大きく寄与された。謹んで哀悼の意を表します。

の若水から八千単位への移転が決定するや、粘り強く地区民を説得、その誠意ある交渉が実を結び、六十六万平方メートルという広大な敷地を確保、理想的なキャンパスが実現したことは、いづまでも忘れられない特筆すべき功績である。また、学園評議員、理事に、それぞれ三十八年間、十四年間在任され、昭和五十九年一月には後藤卯二賞を受賞された。ご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

告知版



小林教授(電気工学) 中島教授(建築学) 名誉教授に 大学に多年勤務し、特に顕著な功績があり、三月三十一日付で退職された次の二教授に、四月一日付で名誉教授の称号が授与された。(敬称略) 電気工学科教授 小林英夫 建築学学科教授 中島一

学 園 人 事

◆新規採用 平成5年2月1日 出産 平成4年12月24日 (長女) 明日子さん

Table with columns for position (e.g., 教授, 助教授), name, and department (e.g., 電気工学科, 建築学). Includes new hires and changes.

Table with columns for position (e.g., 校長, 副校長), name, and department (e.g., 総合企画室, 庶務). Includes administrative changes.

Table with columns for position (e.g., 教務部長, 事務部長), name, and department (e.g., 教務部, 庶務部). Includes departmental changes.

Table with columns for position (e.g., 事務部長, 庶務部長), name, and department (e.g., 庶務部, 事務部). Includes administrative changes.

住所変更

University staff relocation information: 菅財課係長 津田 登 (高校事務部係長), 大学教務課 小島 雅子, 豊田市朝日町四一三二一 〇五六一三三四一 〇四一九, 大学図書館 加藤 直美, 江南市山王町新田二四 〇五八七五三三三九 五四, 大学就職課 西飯 徳康, 瀬戸市幡野町六〇一四 〇五六一八五一五六 六七, 高校 玉井 長武, 名古屋守山区甘軒家二 六一五福山パークハイツ三〇二 〇五二一七九三三四四〇, 大学教養部 大野 順平, 愛知郡長久手町岩作色金 二六一二 〇五六一一 六一四四四〇, 大学経営工学科 近藤高司, 名古屋守山区笠取町四一 一光星ビル二〇三, 大学教務課 有田 哲治, 瀬戸市幡山町六パークヒルズ瀬戸口C一〇二号 〇五六一八五一八四一〇, 大学計算センター後藤 誠, 愛知郡長久手町岩作色金 二六一二 〇五六一一 六一四四四〇, 専門学校 半村 久雄, 名古屋守山区八前二一 一一一五 〇五二一七 七一八八三三, 学園用度課 中村 静, 名古屋守山区小幡二軒 家四一サランみず一A 春日井市熊野町六二九一 八九 〇五六八八四 一八〇七七

鍵山君は8位 世界フィギュア

大学

〈スケート部〉

鍵山君、93年ユニバーシアード冬季大会(二月、ポーランド)に日本代表で出場。テクニカル1位、フリー3位、総合3位。

93年世界フィギュア選手権大会(三月、チェコ)にも日本代表で出場。テクニカルプログラム9位、フリースケートディング7位、総合8位。

〈競技スキー部〉

中部日本学生スキー選手権(第一部)(一月四〜九日、白馬岩嶽スキー場)で、足立君2位、リレー(長距離)でも本学2位、総合で3位と活躍。全日本学生スキー選手権(第三部)(一月十六日、白馬四ツスキー場、他)でも10kmで浅野君1位、回転・大回転で足立君2・4位と活躍。リレーでも本学2位、総合で3位と活躍。

また、高松宮杯中部日本スキー(二月九日、たいらスキー場―富山)の大回転成年一部男子で足立君優勝。

高校

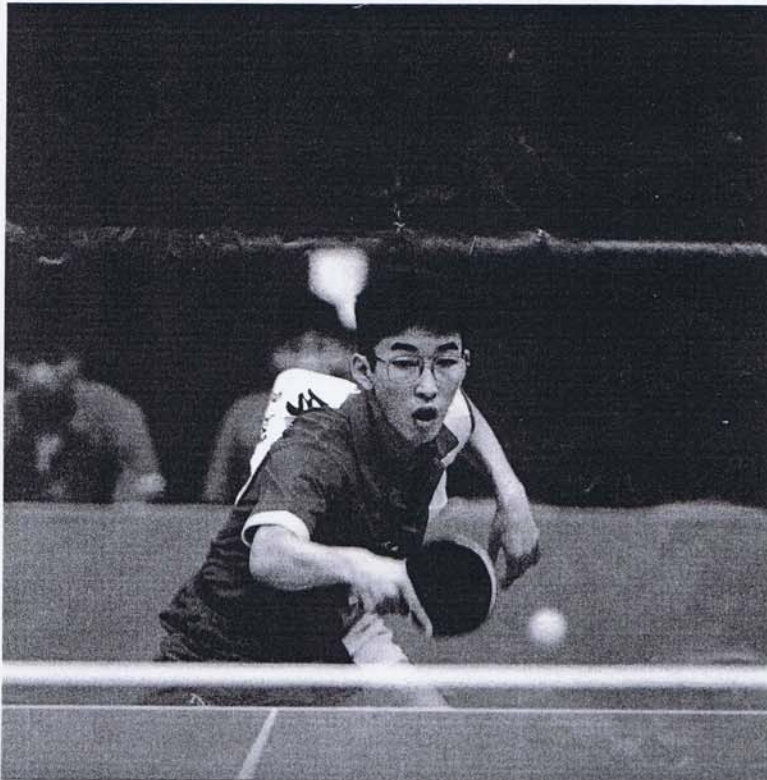
△卓球部▽

平成四年度全国高校選抜卓球大会(三月、十七〜二十八日、香川県高瀬町総合体育館)は、前回優勝のメンバーは殆どおら

ず新メンバーでのぞんだ。予選リーグから苦戦の連続、準々決勝で0対3で相南工大附属(神奈川県)に敗れた。しかし、内容的には接戦で今後の発展に繋がる試合であった。

△ウエイトリフティング▽
第8回全国高校選抜ウエイトリフティング選手権大会(三月二十七〜二十八日、瀬戸市体育館)。参加者は

全国より選抜された男子九十五名、女子十七名。
54kg級伊藤徹君(機械二年)得意のスナッチで失敗し、ジャーク種目102.5kg挙げ8位入賞。
59kg級吉田隆寿君(電気二年)スナッチ種目95kg2位、ジャーク種目117.5kg3位、トータル217.5kg2位。
70kg級出口秀樹君(普



二年)スナッチ102.5kg6位、ジャーク種目で3位内を目指し123.5kgから出したが3回とも失敗。トータルでの3位を逃した。

△フエンス部▽
全国高校選抜フエンスン大会(三月二十七〜二十

平成五年四月愛工大入学の今枝一郎君は、附属中、名電高出身と本学園育ちの中で、順調に卓球の実力を上げて、前年に続き、第42回世界卓球選手権大会(平成五年五月十一〜二十三日、

八日、千葉ポートアリーナ)の成績、次の通り。
予選プール
名電4-5前橋育英

戦績
☆平成元・二年度全日本選手権ジュニアの部シングルス連続優勝
☆平成三年度全日本選手権一般の部シングルス6位

惜しくも連続入賞せず。春の王者を目指し、来年の団体へ、弾みをつけたい折りをこめて、全国相撲新人選手権(三月二十八日、高知市宮相撲場)に出場。昨年の大会3位のメンバーで回転の速い突っ張りが多い大沢(普通二年)が残っていたが、富永(明治大)・内田(同志社大)の抜けた穴が大きく、他の選手は安定感がいまひとつ。

予選一回戦
名電3-0福井農
予選二回戦
名電2-1水戸農
予選三回戦
名電2-1樹徳(群馬)優秀16団体
決勝トーナメント一回戦
名電2-1岐阜農
準々決勝
名電0-3明德義塾
惜しくもベスト8。

予選一回戦
名電3-0福井農
予選二回戦
名電2-1水戸農
予選三回戦
名電2-1樹徳(群馬)優秀16団体
決勝トーナメント一回戦
名電2-1岐阜農
準々決勝
名電0-3明德義塾
惜しくもベスト8。

予選一回戦
名電3-0福井農
予選二回戦
名電2-1水戸農
予選三回戦
名電2-1樹徳(群馬)優秀16団体
決勝トーナメント一回戦
名電2-1岐阜農
準々決勝
名電0-3明德義塾
惜しくもベスト8。

世界の檜舞台へ

低迷日本の救世主に 愛工大へ進んだ今枝君

彼が卓球を志したのは、持病のぜんそくが少しでも良くなればと親に勧められた事きっかけである。

事実、高校一年頃までは、ランニング中ぜんそくになりにかけ中止したり、試合の間は横になっていなければということが時々あった。

体ができてくると、卓球の力は技術的にも飛躍的に伸び、数々の好成績を残している。

愛工大へ進んだ今枝君

主なものをあげると、
☆平成元年度全国中学大会シングルス優勝
☆平成二・三年度全国高校総体シングルス連続優勝
☆平成三・四年度全国高校総体団体

世界において、低迷を続けている日本卓球界の救世主となるよう、愛工大のみならず、日本のエースとしての活躍が大きく期待されている。

その他、海外遠征十数回経験。好成績を記録している。

二十五日現地九時集合、伊澤副学長、大橋学生部長の挨拶の後、平成四年度に課外活動で優秀な成績を取った在学生の表彰が行われた(卒業予定者は卒業式当日)。引きつぎ研修に入った。

主な研修内容は次の通り。

◆国際試合

☆90ハンガリー国際ジュニアオープン選手権団体の部で、同僚の鬼頭選手と組み、見事優勝など。

① 梶川助教
② 四俣教授

・救急看護 レクチュア及び実技(テーピング含み)。
・年次報告及び後援会援助金カウンセリング。
・クラブ委員会討議(公科会及び全体会)等。

学園事務組織変更 四月一日

総合企画室 新設 庶務課を総務課に統合 新たに人事課 設置

四月一日から学園事務を設ける。

組織の一部が次のように変更された。

事務局の「企画広報室」を廃止し、学園に「総合企画室」を設置する。総務課で扱っていた人事企画室には、「広報課」を扱う。

会長に佐藤二郎氏

大学後援会定時総会

大学後援会定時総会が四月七日入学式後、午前十一時から愛和会館講堂で開催された。出席者約四五〇名。浅賀会長、後藤学長の挨拶など、終って議事にいる。

議事では、新会長に佐藤二郎氏を選出され、前会長浅賀重夫氏は副会長に就任された。総会後、学科ごとに各学科講義室で先生方と懇談。

中島名誉教授 彦根市長に

中島一・大学名誉教授 び新人の二人を圧倒的授が彦根市長選挙(投票日・四月二十五日) 目出たく当選。今後のに立候補、現職市長及こ活躍が期待される。

愛知会館で開かれた。鈴木知事はじめ、県・名古屋市長スポーツ関係者、高校OB、選手と関係者約三百名が出席し優勝を祝った。

大学
リーダー研修
終わる

各クラブ・同好会のリーダーを対象として毎年開催しているリーダー研修会が、二月二十五日から二泊三日で、厳しき寒さの中、愛知青少年公園で行われた。

参加者は、各クラブ・同好会の主将とマネジャーで計百九名。

愛知会館で開かれた。鈴木知事はじめ、県・名古屋市長スポーツ関係者、高校OB、選手と関係者約三百名が出席し優勝を祝った。

愛知会館で開かれた。鈴木知事はじめ、県・名古屋市長スポーツ関係者、高校OB、選手と関係者約三百名が出席し優勝を祝った。

愛知会館で開かれた。鈴木知事はじめ、県・名古屋市長スポーツ関係者、高校OB、選手と関係者約三百名が出席し優勝を祝った。

愛知会館で開かれた。鈴木知事はじめ、県・名古屋市長スポーツ関係者、高校OB、選手と関係者約三百名が出席し優勝を祝った。